

愛知大学では、文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の採択を受け、「越境地域マネジメント研究」を本学に拠点化し、その実用によって縮減する社会に持続性を生み出すとともに、全国県境地域への波及効果を目指しています。その一環として、本研究フォーラムを下記の通り開催いたします。越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2021年 2月27日(土) 10:00～ **オンライン開催**

10:00～12:00

午前の部:講演会

- あいさつ 川井 伸一 (愛知大学学長)
- 趣旨説明 戸田 敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)
- 基調講演 「越境的な広域行政制度の現状と課題」
佐々木 浩氏 (前総務省自治大学校長、現SMBC日興証券顧問)
- コメント・質疑応答
- 登壇者 佐々木 浩氏 (前総務省自治大学校長、現SMBC日興証券顧問)
後 房雄 (愛知大学地域政策学部教授)
入江 容子 (愛知大学法学部教授)
- コーディネーター 菊地 裕幸 (愛知大学地域政策学部教授)

13:00～17:40

午後の部:研究発表会

愛知大学特別重点研究「スーパー・メガリージョン形成に関する実証的研究」

スーパー・メガリージョンの国土計画的変容 (13:05～)

- ・ポストリアの東海道新幹線利活用意向について: 鈴木伴季(愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究員)・戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)・高橋大輔(東三河地域研究センター)
- ・広域連携の課題と展望—水平的連携、垂直的補完と自主性・自立性—: 入江容子(愛知大学法学部教授)
- ・産業知識の地域集積に関する実証研究—自動車部品産業を対象に: 蔣湧(愛知大学地域政策学部教授)
- ・リア中央新幹線 Post COVID-19への視点—整備新幹線沿線から考える: 榎引素夫(青森大学)
- ・コロナ禍における県境地域づくりの考察—「信越県境地域づくり交流会」の取組を通じて—: 内海巖(上越市創造行政研究所)

◇コーディネーター: 戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)

都心拠点地区エリアマネジメントの地域計画的展開 (14:45～)

- ・ささしまエリアマネジメントにおける交流機能の形成について: 内山志保(愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究助教)・戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)・永柳宏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
- ・地域における事業承継の現状と課題について—沖縄県・愛知県に関するアンケート調査の比較から—: 打田委千弘(愛知大学経済学部教授)
- ・リア中央新幹線の時間価値(料金の設定): 神頭広好(愛知大学経営学部教授)・竹内啓仁(日本福祉大学)・駒木伸比古(愛知大学地域政策学部教授)

◇コーディネーター: 神頭広好(愛知大学経営学部教授)

大都市圏中間地域の地域計画的展開 (15:55～)

- ・三遠南信地域における研究蓄積の「可視化」—地理学関連文献を対象として—: 駒木伸比古(愛知大学地域政策学部教授)・村山徹(名古屋経済大学)
- ・中山間地域の社会的価値: 岩崎正弥(愛知大学地域政策学部教授)・黍嶋久好(愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究員)
- ・区域と自治—大規模合併を行った浜松市の事例から—: 鄭智允(愛知大学地域政策学部教授)・堀内匠(地方自治総合研究所)
- ・軽トラ市におけるノウハウ移転: 徐非凡(愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究助教)・戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)
- ・軽トラ市におけるコロナ対応: 鈴木良尚(愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究員)・戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)・鈴木伴季(愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究員)

◇コーディネーター: 駒木伸比古(愛知大学地域政策学部教授)

文部科学省
私立大学研究ブランディング事業
(2020年度)

第8回越境地域政策研究フォーラム

愛知大学三遠南信地域連携研究センター

◆お問い合わせ先
愛知大学
三遠南信地域連携研究センター
〒441-8522
愛知県豊橋市町畑町1-1
TEL:0532-47-4157
FAX:0532-47-4576
E-mail:sen-center@m1.aichi-u.ac.jp

御名前: 御所属:
E-mail (必ずご記入ください):
電話番号: 参加希望 (○をつけてください): 午前の部、午後の部

※参加ご希望の方は、E-mail・FAXにてお申し込み下さい。オンライン(Zoom)参加用のURL等をお送りいたします。